

## 中学校第1学年 道徳学習指導案

1 主題名 「周囲の人々の思いを糧に」 内容項目 1－(2) 関連項目 2－(6)

2 資料名 「父との約束ー消防士になりたい」 (自作資料)

3 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

人間としてよりよく生きるには、夢や目標をもつことが大切である。しかし、急速に変化する現代社会の中で、将来を見通すことが難しかったり、夢や目標をもてなかったりしてしまうこともある。また、夢や目標をもちつつも、思うようにいかない状況や困難に直面し、挫折したり、日々の目標を見失ってしまったりすることも少なくない。

人は、一人で生きているのではない。他者とのかかわりの中で、互いに助け合い、協力し合って生きている。そして、他の人が自分のことを大切に思ってくれていることに触れることで、感謝の心が生まれる。

そこで、指導に当たって、多くの人々の支えに気づき、自己の存在価値を実感させたいと考えた。そして、それによって感じた感謝の気持ちにこたえるために、夢を実現しようとする姿の素晴らしさに触れることで、夢や目標を立てて努力しようとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

○ 生徒の実態について

中学生の時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対して意欲的に取り組む態度が育ち、希望と勇気をもって生きる崇高な生き方に憧れをもつ年代でもある。一方で、自分に自信がもてずあきらめてしまったりくじけてしまったりすることもあるが、そのような時には、周りの支えや励ましに助けられていることも多い。

しかし、物質的に恵まれ、不自由を感じることなく育ってきた生徒たちは、やってもらうことが当たり前になってしまい、感謝の気持ちをもって受け止めることができていない。

周囲の人々の支えに気付くことにより、自己の存在価値を実感させ、その支えがあるからこそ、今があり、これらにつながること気付かせたい。そして、それにこたえようとする気持ちをもつことを通して、これからの自分の生活や進路に向かう新たな気持ちをもたせたい。

○資料について

本資料は、佐賀県の鹿島消防署に勤める消防士、牧瀬わか奈さんに取材し、作成した自作資料である。牧瀬さんは、小中学生のときに全力を注いだ陸上競技を、実業団として将来も続けるという夢が途切れたとき、自分の将来について悩んだ時期があったが、消防士の父の一言で、同じ消防士の道に進むことを決意した。それからの3年間、夢を実現するまでの苦労や試練があり、また、父が病に倒れてしまう現実と向き合う日々が続いたが、当時の日記には、自分が苦労や試練を乗り越えることができたのは家族の存在と支えがあったからだ、感謝の気持ちを表していた。牧瀬さんの思いを基に、周囲の人々の支えにより今の自分があることに気付かせ、その思いを糧に、夢や目標に向かって努力していくことの大切さを考えさせることができる資料であるとする。

○指導について

本時の導入では、「自分を支えてくれている人」を思い浮かばせ、支えられていることの確認をして価値への方向付けを行う。展開では、主人公の経験した挫折や迷いに共感させながら、周囲の人々の支えにより、乗り越える場面で、ねらいとする価値を理解させたい。牧瀬さんの考え方や生き方の中で見習いたいところを、班で思いつく限り出し合いながら話し合うことで、価値を自分との関わりで捉えさせる手立てとしたい。終末では、牧瀬さんからの生徒たちに向けたメッセージと実際に働く姿を見せることで、生徒たちが、感謝の気持ちに応えることを一つのプロセスとして、夢を実現しようとする姿の素晴らしさを感じ取り、その価値を自分なりに発展させていこうとする意欲が培われることを目指したい。

4 ねらい

牧瀬さんの姿に、自分の経験や思いを重ねて考えることを通して、周囲の人の支えに気づき、それに応えるために、これからの自分の進路に向かおうとする気持ちをもたせる。

5 展開(   形成的な評価 : ●達成不十分な生徒への指導)

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 支えられていることの確認をする。	○あなたを「支えてくれている人」はいますか。それは誰ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山中伸弥さんの新聞記事「支えてくれた人に感謝」を紹介して、発問へとつなげる。</li> <li>・いくつかの予想される反応を、あらかじめカードで準備し、提示しながら挙手をさせることで、様々な家庭環境に配慮する。(家族、友達、先輩、先生)</li> </ul>
展開	2 資料を読んで考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半を読む。</li> <li>・ワークシートの1に自分の考えを書く。</li> <li>・後半を読む。</li> <li>・付せんに、自分の考えを書く。</li> <li>・班で話し合い、意見をまとめる。</li> </ul>	○牧瀬さんの言葉の中にある「迷い」と「不安」とはどんな迷いだっただろう。どんな不安だっただろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい選択だったのだろうか。</li> <li>・これからどうすればいいのだろうか。</li> <li>・就職できないかもしれない。</li> <li>・自分の可能性がなくなった。</li> </ul> ◎牧瀬さんの考え方や生き方で、見習いたいと思うところはどんなことですか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標のために、一生懸命頑張っているところ。</li> <li>・あきらめない気持ち。</li> <li>・家族のことを大切に思っているところ。</li> <li>・励ましてくれる人や支えてくれる人への感謝の気持ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の弱い部分に共感したり、部活動や今一生懸命取り組んでいることを想起したりさせて、自分の経験と重ねさせる。</li> <li>・高校を卒業したときの進路が途絶えた辛さを強調して、想像させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             牧瀬さんの言動や思いを感じ取り、ねらいとする価値の記入できている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>1-(2)</li> <li>●主人公の行動を振り返らせる。</li> <li>2-(6)</li> <li>●主人公とその周りの人達の関わりに気付かせる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で付せんに記入した後、班で付せんを貼りながら、意見を交流させ、2つ程度にまとめさせる。</li> <li>・班ごとに発表させ、いくつか出揃ったところで、補助発問「この中で、今の自分ができていることはありますか。」と問い掛け、自分との関わりで価値を捉えさせる。</li> <li>・このときの生徒の発言は、どれも肯定的に受け入れて、たくさん出させる。</li> </ul>
終末	3 ワークシートの2に授業の感想を書く。 4 牧瀬さんからのメッセージ(映像資料)を聞く。	○あなたを見守ってくれている人の思いや支えに応えるために、これから何をしていきたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に宿題で出していた自分の家族の思いをまとめたものと、牧瀬さんからのメッセージを紹介する。</li> <li>・発表させて、価値を交流する。</li> <li>・牧瀬さんのその後と現在の紹介をして、映像を提示する。</li> <li>・BGMで音楽を流し、雰囲気づくりをする。</li> </ul>

6 評価の観点

牧瀬さんの姿に、自分の経験や思いを重ねて考え、自分の周囲の人の支えに気付き、それに応えるために、これからの自分の進路に向かおうという気持ちをもつことができたか。(ワークシート)